

◆日程 2016年4月9日(土) 晴れ

◆メンバー L: 小林、山野井

鳥沢駅7時40分に到着。小林さんが2部地図を持参していただきそれを元に登山口までの道のりを確認する。地図が古いものと市街地の道に変化があり迷うこともあるとの事。中央線の線路を越えてからは新しい大きな道ができていた。民家の間を抜け猿橋町小篠のあたりは桜が庭先にも満開。倉岳山登山道口の標識も見え始める。入り口は柵があり、右脇の柵を開け進む。20メートルほど行くと貯水池がみえた。ここでコンパスの使い方の確認。進むべき方向を常に見定めないと雪山などぐるぐると回ってしまうこともあるとのこと。崖の手前、東側の斜面を上がる。足元はそれほど悪くないが傾斜がきついので草を頼りに進む。高度400付近。尾根を頼りに歩く。下を向きすぎて歩いているのか足の運びが悪い。40分ほど上がると高度644付近。ここからは少し西側に巻きながら進むが巻きすぎて尾根から外れる。上がれるところは見つからず尾根に戻る。巻いて登れるならよいが雪山では基本尾根を歩くそうだ。小休止する。ここから30分ほど尾根沿いを進み、最後登りは傾斜きつく足場も悪いためなかなか



進まない。

頂上は晴れて遠く大菩薩嶺、道志のあたりもよく見える。富士山は雲がかかり全貌は見えず。しばらく休憩し、東南の方向に下る。途中、無生野地区道志の山並みが見渡せる。20分ほど下ると立野峠の標識。北側の斜面は植林。そのまま、標高808まで下る。途中登山グループ2組ほどすれ違う。



標高808から北北西に下る尾根に入る。大きく道は開かれていてわかりやすい。そのまま、標

高686まで尾根を下る。開けているところで昼食にする。倉岳山は見えないが、穏やかな昼食。40分ほどして再び降りる。ここからは少し西側を進む予定。尾根が途切れているので解りにくい。2つ目のピーク越えて西側に入るはずが行き過ぎる。沢の手前の尾根のようで急な斜面を下る。足元は植木の枝木が覆い深いので転んでも危険ではないがかなりの傾斜。降りると沢にでた。苔むして新緑の綺麗な沢だ。沢沿いを15分ほど歩き車道に出る。登山口の登山計画書を入れるポストは壊れていると但し書きがあつた。

CT: 鳥沢駅 7:45-倉岳山登山口 8:05-倉岳山北西尾根上 8:45-標高点 (644m)

9:30/9:45-倉岳山 10:52/11:02-鳥屋山 12:12-標高点(686m) 12:27/13:01-

林道ポスト 13:45-梁川駅 14:12

(記: 山野井)